

## 藝術学関連学会連合シンポジウム

毎年恒例で東西交代で開催されている「藝術学関連学会シンポジウム」、第6回目の今年は大阪大学を会場に、初めて「デザイン」をテーマに、意匠学会と日本デザイン学会のコーディネートで開催されます。参加費無料で事前の申し込みも不要ですので、ぜひご参加ください（どなたでも参加できます）。

### 藝術学関連学会連合第6回公開シンポジウム

テーマ：「アートとデザイン — その分離と融合 —」

パネリスト：竹内宥子、森仁史、竹原あき子、黒川雅之

日時：2011年6月18日（土）13：00～17：30

会場：大阪大学会館講堂（大阪大学豊中キャンパス）阪急宝塚線「石橋駅」下車徒歩10～15分

主催：藝術学関連学会連合  
日本学術会議哲学委員会・芸術と文化環境分科会

共催：大阪大学大学院文学研究科  
科研基盤研究(A)「アーツ・アンド・クラフツと民藝」

コーディネーター：  
黒川 威人（日本デザイン学会）  
藤田 治彦（意匠学会）

併催行事：大阪大学創立80周年記念展  
見学会「阪大生・手塚治虫 — 医師か？マンガ家か？」大阪大学総合学術博物館  
（シンポジウム同日11：00～12：00）

## 大会報告

第52回大会は、平成22年7月31日（土）と8月1日（日）の2日間、関東学院大学において開催されました。詳細は以下のとおりです。

会場：関東学院大学 関内メディアセンター  
会期：平成22年7月31日（土）～8月1日（日）

総会・研究発表会：M-803

懇親会：横浜中華街「金香楼」

パネル発表懇談会：

メディアセンター・ラウンジ

参加費（会員）：2,000円

（会員、非会員／学生無料）

懇親会費：4,000円

### プログラム

7月31日（土）

研究発表 会場：M-803

10：30～11：00 研究発表1

小出治都子（立命館大学大学院）少女雑誌から見る化粧品広告 — 『少女の友』と中山太陽堂

11：00～11：30 研究発表2

熊倉 一紗（京都造形芸術大学）正月用引き札の広告機能：女性図像の変容を手がかりに

11：30～12：00 研究発表3

山本 政幸（多摩美術大学）20世紀イギリスにおけるモダン・タイポグラフィの形成過程

12:00-13:00 昼食

13:30-14:30 パネル発表

会場：メディアセンター・ラウンジ

パネル発表1 裏 京姫（大阪芸術大学大学院）

CHEKKORI-NOW（息子の部屋）

パネル発表2 吉原 卓男（大阪芸術大学）

空中の集落 沖の島

パネル発表3 村田 裕子（大阪大谷大学短期学部）

『主婦之友』にみる昭和初期の洋装子供服について

パネル発表4 伊地知栄美（大阪芸術大学大学院）

ワイルドライフ・アートとしての鳥獣戯画 — 観察と観望学的視点から —

研究発表 会場：M-803

15:00-15:30 研究発表4

鈴木 桜子（杉野服飾大学）イギリスにおける健康・芸術的衣服同盟と芸術家たち — 機関誌「Aglaia」と「The Dress Review」より —

15:30-16:00 研究発表5

安城 寿子（お茶の水女子大学大学院）言葉からたどるファッション・デザインへの意識の萌芽 — 洋服裁縫師，洋服裁断師から「デザイナー」へ —

16:30-17:00 研究発表6

神野 由紀（関東学院大学）国立工芸指導所における子ども用品研究 — 西川友武のデザイン思想の背景を中心に

16:45-17:30 総会

18:00-20:00 懇親会：

横浜中華街「金香楼」

大会第2日目 8月1日（日）

10:00 受付開始：

メディアセンター・ラウンジ

研究発表 会場：M-803

10:30-11:00 研究発表7

橋本 啓子（神戸大学）倉俣史朗《ミス・ブランチ》（1988）の受容にみるデザインのあり方

11:00-11:30 研究発表8

山田由希代 堂本印象による襖絵における抽象表現 — 西芳寺西来堂を中心に —

11:30-12:00 研究発表9

福江 良純（京都府立堂本印象美術館）石井鶴三の立体造形論 — 《島崎藤村像》制作過程の検証を通して —

12:00-13:00 昼食

13:00-13:30 研究発表10

島先 京一（成安造形大学）アール・ブリュットのポストモダニティー — 福祉から芸術，そして芸術から福祉へ —

13:30-14:00 研究発表11

松友知香子（九州産業大学）メディア・アートにおけるイリュージョン性

14:00-14:30 研究発表12

要 真理子（愛知産業大学）『BLAST』に見る vortex の理念とデザイン

14:45-16:45 シンポジウム

テーマ：「ヨコハマ・デザインを考える」

司会：藤本憲太郎（関東学院大学）

パネリスト：

小宮 容一（芦屋大学）

鈴木 伸治（関東学院大学）

水沢 勉（神奈川県近代美術館）

門田 園子（国立西洋美術館研究資料センター）

17:00 閉会

## 第51回意匠学会大会（大阪大学）報告一部訂正

### 日本デザイン学会会長祝辞

本日は、意匠学会創設50周年記念祝賀会にお招きいただきましたこと、非常に光栄に存じております。あいにく喫緊の所用にて出席がかなわず、非常に心苦しく感じております。書中ではございますが、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

まず最初に、この半世紀、意匠学会会員の皆様方が数多くの研究成果をあげられ、着実に学会発展にご尽力されてきましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、2003年5月23-25日、東京藝術大学で開催された日本デザイン学会50周年記念大会には、来賓として貴学会宮島久雄会長のご出席ならびにご祝辞を賜り、学会員一同、心より感謝申し上げます。

さて、皆様ご承知のように、日本デザイン学会は、デザインに関する学術的研究の進歩発展に寄与することを目的として、1953年に設立されました。当学会と貴学会における過去の交流を繙いてみますと、日本学術会議における芸術学研究連絡委員会の構成団体として共同歩調を取ってきた経緯もあり、両学会に属する会員の方々も多数いらっしゃいます。

個人的な話となって恐縮ですが、学生時代に「意匠」という漢字の由来を習った記憶がございます。それは、「意」とは「心」に浮かんだ内容を感じた「音」に置き換えること、「匠」とは斧（斤）を用いて箱（匚）を作ること、したがって「意匠」とは、人の心に生じた思いを、例えば音としての言葉や文字・記号・図といったメディアに転換し、それらに基づいて、道具を介して生活用具を創作し、人びとの心を充足させていく行為を意味している、というものでありました。いうまでもなく、意匠という言葉が有する意味内容は、明治期の思想家である田口卯吉の「意匠とは人心の花なり」を引き合いに出すまでもなく優れて哲学的で奥深く、貴学会藤田治彦会長の50周年を迎えるメッセージにも述べられていますように、漢

字文化圏が生んだ意味豊かな言葉であると考えます。

ところで、日本デザイン学会における「デザイン理論」に関する研究は、ミッドセンチュリーにおける黎明期を経て、その後さまざまな展開が試みられています。現在では、多様化・混迷化する時代背景を踏まえてその重要性が再認識され、学会活動における地帯を切り開く重要案件のひとつとしてそれまでの部会を改組し、昨年4月に「デザイン理論・方法論研究部会」として活動を開始したところでもあります。意匠学会とデザイン学会、両学会が創設の起源を異にするものであったとしても、学究内容において深いつながりを有していることはまぎれもない事実であります。今後の展開がどのように推移するかは定かではありませんが、意匠学/デザイン学の進展に向けてさらなる連携強化があることを願ってやみません。

最後になりましたが、学会創設半世紀という事実は、それまでの歴史的変遷を俯瞰するにとどまらず、未来感に立脚したビジョンをさまざまな局面から考える格好の機会であると考えます。過去を評価することは現在の問題を明確にすることにつながることで、さらには、過去の評価から出発しないと今後の展開や在りようはその視点を見失う可能性があるともいえます。この意味において、半世紀という時間は極めて重いものがあると考えます。

豊かな歴史観に立脚した貴学会の、今後のますますのご発展を折念して、簡単ではございますがお祝いのご挨拶とさせていただきます。

2009年7月11日  
日本デザイン学会会長 青木 弘行

日本デザイン学会青木会長は公務により欠席されたが、予め以上のようなご祝辞を頂いており、総会で披露された（会報66号に誤植があったため、再掲載させていただきました）。

## 総会報告

第52回総会（平成22年7月31日，於関東学院大学関内メディアセンター）において，平成21年度収支決算，平成23年度予算案（修正），および平成24年度予算案が提出され，了承されました。

### 平成21年度 収支決算

（平成22年7月31日承認）

収入の部		支出の部					
前年度よりの繰越金	6,138,320	『デザイン理論』編集費	110,949				
会 員 会 費	2,367,000	『デザイン理論』印刷費	315,315				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">正会員</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">8,000×294=2,367,000</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td style="text-align: right;">15,000×0=0</td> </tr> </table>	正会員	8,000×294=2,367,000	法人会員	15,000×0=0		大会補助費	58,733
正会員	8,000×294=2,367,000						
法人会員	15,000×0=0						
		例会	12,760				
		ホームページ作成・維持費	94,500				
		分科会費	10,000				
		学会賞等奨励金	150,000				
		創立50周年記念事業費	229,151				
雑 収 入	4,000	芸 関 連 会 費	15,000				
利 息	1,334	事 務 費	13,755				
		会 報 印 刷 費	0				
		旅 費	0				
		予 備 費	0				
		学会支援センター委託料	419,166				
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">業務委託手数料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">258,052</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td style="text-align: right;">161,114</td> </tr> </table>	業務委託手数料	258,052	業務委託立替金	161,114	
業務委託手数料	258,052						
業務委託立替金	161,114						
		次 期 繰 越 金	7,041,325				
計	8,510,664	総 計	8,510,654				

### 平成22年度 予算案

（平成21年7月11日承認）

収入の部		支出の部							
前年度よりの繰越金	6,003,320	『デザイン理論』編集費	80,000						
会 員 会 費	2,655,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">正会員</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">8,000×330=2,640,000</td> </tr> <tr> <td>学生会員</td> <td style="text-align: right;">4,000×0=0</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td style="text-align: right;">15,000×1=15,000</td> </tr> </table>	正会員	8,000×330=2,640,000	学生会員	4,000×0=0	法人会員	15,000×1=15,000		例会	40,000
正会員	8,000×330=2,640,000								
学生会員	4,000×0=0								
法人会員	15,000×1=15,000								
		大会補助費	150,000						
		ホームページ作成・維持費	100,000						
		分科会費	10,000						
		学会賞等奨励金	150,000						
		芸 関 連 会 費	15,000						
雑 収 入	0	事 務 費	5,000						
		会 報 印 刷 費	0						
		旅 費	0						
		予 備 費	50,000						
		名 簿 印 刷 費	150,000						
		選 挙 関 連 業 務 費	50,000						
		学会支援センター委託料	580,000						
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">業務委託手数料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">330,000</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td style="text-align: right;">250,000</td> </tr> </table>	業務委託手数料	330,000	業務委託立替金	250,000			
業務委託手数料	330,000								
業務委託立替金	250,000								
		次 期 繰 越 金	6,078,320						
計	8,658,320	総 計	8,658,320						

平成22年度  
補正予算案

(平成22年7月31日承認)

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	7,041,325	『デザイン理論』編集費	80,000
会 員 会 費	2,655,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000
		例 会 費	40,000
		大 会 補 助 費	150,000
		ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 ・ 維 持 費	100,000
		分 科 会 費	10,000
		学 会 賞 等 奨 励 金	150,000
		芸 関 連 会 費	15,000
		事 務 費	15,000
		会 報 印 刷 費	0
		旅 費	0
		予 備 費	50,000
		名 簿 印 刷 費	250,000
		選 挙 関 連 業 務 費	50,000
		学 会 支 援 セ ン タ ー 委 託 料	580,000
		業務委託手数料	330,000
		業務委託立替金	250,000
雑 収 入	0	次 期 繰 越 金	7,006,325
計	9,696,325	総 計	9,696,325

平成23年度  
予算案

(平成22年7月31日承認)

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	7,006,325	『デザイン理論』編集費	80,000
会 員 会 費	2,655,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000
		例 会 費	40,000
		大 会 補 助 費	150,000
		ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 ・ 維 持 費	100,000
		分 科 会 費	10,000
		学 会 賞 等 奨 励 金	150,000
		芸 関 連 会 費	15,000
		事 務 費	15,000
		会 報 印 刷 費	0
		旅 費	0
		予 備 費	50,000
		学 会 支 援 セ ン タ ー 委 託 料	580,000
		業務委託手数料	330,000
		業務委託立替金	250,000
雑 収 入	0	次 期 繰 越 金	7,261,325
計	9,661,325	総 計	9,661,325

## 研究例会

### 第203回研究例会

平成22年9月4日(土)  
於 京都工芸繊維大学

1. 明治・大正期における清国市場向け日本陶磁器とその意匠について  
前崎 信也(立命館大学 グローバル・イノベーション研究機構)
2. 芸術における周縁的なものと人間の生 — 「限界芸術」の概念を手がかりに  
三木 順子(京都工芸繊維大学)

### 第204回研究例会

平成22年11月13日(土)  
於 芦屋大学 大阪キャンパス

1. 沿岸部斜面地集落の公私境界部における敷地利用形態について  
宮崎 篤徳(大阪芸術大学)
2. 市民を活かすまちづくり: 「歩きやすい道」をめぐる取り組み  
田村 剛(立命館大学)

## 一般会務報告

### 平成22年度第1回役員会 議事録

日時: 平成22年5月15日(土) 12時より  
会場: 大阪芸術大学 ほたるまちキャンパス

出席者: 伊東徹夫, 太田喬夫, 小宮容一, 佐藤博一, 鳥先京一, 谷本尚子, 竹内幸絵, 廣田孝, 藤本憲太郎, 三木順子, 藪亨, 山口良臣

#### [審議事項]

議題1. 前回議事録の承認 承認された。

議題2. 入会, 退会希望者の承認 回覧の上承認された。

### 議題3. 第52回大会について

会場: 関東学院大学関内メディアセンター  
日時: 7月31日(土), 8月1日(日)

#### 研究発表申込者の決定

1. 小出治都子(立命館大学大学院) 「少女雑誌からみる化粧品広告 — 『少女の友』と中山太陽堂」
2. 神野 由紀(関東学院大学) 「国立工芸指導所における子ども用品研究 — 西川友武のデザイン思想の背景を中心に」
3. 鳥先 京一(成安造形大学) 「アール・ブリュットのポストモダンティーン — 福祉から芸術, そして芸術から福祉へ —」
4. 松友知香子(九州産業大学) 「メディア・アートにおけるイリュージョン性」
5. 鈴木 桜子(杉野服飾大学) 「イギリスにおける健康・芸術の衣服同盟と芸術家たち — 機関誌「Aglaia」と「The Dress Review」より —」
6. 橋本 啓子(神戸大学) 「倉俣史朗《ミス・ブランチ》(1988)の受容にみるデザインのあり方」
7. 熊倉 一紗(京都造形芸術大学) 「正月用引札の広告機能: 女性図像の変容を手がかりに」
8. 要 真理子(愛知産業大学) 「『BLAST』に見る vortex の理念とデザイン」
9. 山田由希代(京都府立堂本印象美術館) 「堂本印象による襖絵における抽象表現 — 西芳寺西来堂を中心に —」
10. 福江 良純(京都府立京都八幡高等学校) 「石井鶴三の立体造形論 — 《鳥崎藤村像》制作過程の検証を通して —」
11. 安城 寿子(お茶の水女子大学大学院) 「言葉からたどるファッション・デザインへの意識の萌芽 — 洋服裁縫師, 洋服裁断師から「デザイナー」へ —」
12. 山本 政幸(多摩美術大学) 「20世紀イギリスにおけるモダン・タイポグラフィの形成過程」  
北田聖子, 石川義宗の両名は, 昨年度11月例会で発表済み。  
田島奈都子は昨年度大会発表済み。

宮崎 篤徳は新入会員のため、もう少し時間を置いて頂くことになった。

パネル申込者

1. 妻 京姫 (大阪芸術大学)  
「CHEKKORI-NOW (息子の部屋)」
2. 吉原 卓男 (大阪芸術大学)  
「空中の集落 沖の島」
3. 村田 裕子 (大阪大谷大学短期大学部)  
『主婦之友』にみる昭和初期の洋装子供服について
4. 伊地知栄美 (大阪芸術大学)  
「ワイルドライフ・アートとしての鳥獣戯画 — 観察と観望学的視点から —」  
申込者数が少ないので、周辺の会員に申し込みをお願いしてもらおう。

議題4. 9月例会について

会場：京都工芸繊維大学 9月4日(土)

発表候補者：

- 前崎 信也「明治・大正期における清国市場向け日本陶磁器とその意匠について」  
亀野 晶子「蔵田周忠」

議題5. 11月例会について

会場候補：芦屋大学 大阪キャンパス O Sビル (阪急梅田東側)

発表候補者：

- 田村 剛 (大阪芸術大学)「市民を活かすまちづくり：「歩きやすい道」をめぐる取り組み」  
宮崎 篤徳 (立命館大学)「沿岸部斜面地集落の公私境界部における敷地利用形態について」

2月例会へのエントリー

三木順子 (京都工芸繊維大学)

会場候補：京都造形芸術大学

議題6. 平成21年度収支決算、平成22年度補正予算、平成23年度予算案について  
2009年度収支決算の学会等奨励金→学会賞等奨励金

議題7. 例会発表の発表要旨をHPに掲載し、メールでの例会案内への記載について承認内容を戴副会長がチェック。例会案内をwebサイトに掲載してはどうか？

HPのアドレスを載せる。

議題8. 意匠学会各賞の英語名について

現時点での案が承認された。

The Japan Society of Design Award

(意匠学会賞)

Research Award of the Japan Society of Design

(意匠学会論文賞)

Design Award of the Japan Society of Design

(意匠学会作品賞)

その他

1. 横断型科学技術研究団体連合からの案内について

[報告事項]

報告1. 各種委員会報告

編集委員会 梅宮委員から編集委員の報告書が寄せられ、現状の説明がなされた。役員会で問題点が指摘された。

広報委員会 webサイトの改定を検討しております。

会報進行させます。

芸術学学会関連シンポジウム できるだけ参加して欲しいとの連絡

大会主催校からの報告

平成22年度 第2回役員会 議事録

日時：平成22年7月31日(土) 12時15分より

場所：関東学院大学関内メディアセンター

出席者：今井美樹, 上羽陽子, 梅宮弘光, 太田喬夫, 面矢慎介, 小宮容一, 佐藤敬二, 佐藤博一, 島先京一, 竹内幸絵, 谷本尚子, 塚田耕一, 藤田治彦, 三木順子, 藪亨, 山口良臣, 横川公子, (オブザーバー：藤本憲太郎, 伊集院敬行, 吉村典子)

[審議事項]

議題1. 前回議事録の承認された

議題2. 総会資料の確認。訂正箇所が指摘され、承認された。

議題3. 9月例会について

会場, 日時:

京都工芸繊維大学, 9月4日(土)

発表候補者が以下のように決定された。

前崎 信也「明治・大正期における清国市場向け日本陶磁器とその意匠について」

三木 順子「芸術における周縁的なものと人間の生——「限界芸術」の概念を手がかりに」

議題4. 11月例会について

会場, 日時: 芦屋大学 大阪キャンパス

OSビル 11月13日(土)

発表候補者:

田村 剛(大阪芸術大学)「市民を活かすまちづくり:「歩きやすい道」をめぐる取組み」

宮崎 篤徳(立命館大学)「沿岸部斜面地集落の公私境界部における敷地利用形態について」

議題5. 2月例会について

会場候補地: 京都造形芸術大学に代って京都精華大学に決定した。

候補日: 2月12日

発表候補者:

亀野 晶子「蔵田周忠を中心としてみる東京高等工芸学校」

議題6. 編集委員会について

委員長からの説明があり、56号については作業中。57, 58号については次期編集委員に引き継ぐ予定と報告された。

委員長と副委員長の二人態勢、編集事務局との役割分担について、編集委員会で検討したいと報告された。伊集院敬行と吉村典子会員の二人が意匠学会役員会の幹事として承認

された。

議題7. 入退会者について承認された。

議題8. その他

副会長を二名にする案が会則改正案と共に提出され、総会に提案されることが承認された。(会則 第3章役員 第8条の変更)

次回大会会場候補地として、国立民族学博物館が挙げられた。

[報告事項]

報告1. 各種委員会報告

編集委員会:『デザイン理論』55号での大会報告等が抜けていたこと等のお詫びが述べられた。表紙デザインのデザイナーの変更を編集委員会で検討したい。

学会賞委員会:大会への学会賞委員の出席者が3名しかないので、パネル発表中は予備審査をした後、大阪に郵送した後本審査を行うということになった。

大阪への郵送しなかった作品も審査対象にすることが役員会で決定した。

報告2. 名簿改訂を行うことを確認した。

平成22年度 第3回役員会 議事録

日時:平成22年9月4日(土)12時30分より

場所:京都工芸繊維大学 60周年記念館2階 小セミナー室

出席者:伊東徹夫, 今井美樹, 梅宮弘光, 太田喬夫, 佐藤敬二, 佐藤博一, 鳥先京一, 谷本尚子, 並木誠士, 廣田孝, 藤田治彦, 三木順子, 藪亨, 横川公子

[審議事項]

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 11月例会について

場所 芦屋大学, 大阪キャンパス

日時 11月13日(土)

発表候補者:

宮崎 篤徳(大阪芸術大学)「沿岸部斜



面地集落の公私境界部における敷地利用形態について」

田村 剛（立命館大学）「市民を活かすまちづくり：「歩きやすい道」をめぐる取組み」

#### 議題3. 2月例会について

場所：京都精華大学

日時：2月12日

発表候補者：

亀野 晶子（京都工芸繊維大学）「蔵田周忠を中心としてみる東京高等工芸学校」

申込書が出ていないが、京都精華大学の大学院生侯芳芳の応募予定が伝えられた。

#### 議題4. 5月例会について

場所：成安造形大学に決定。発表候補者は未定。

#### 議題5. 第53回大会開催校の決定

場所：国立民族学博物館

日時：7月16日（土）、17日（日）

民族学博物館の職員が発表すれば、展示等の費用が保障されることもあり、民博職員の積極的な参加を期待することが確認された。

実行委員を結成してほしいとの申し出があり、今井会員、島先会員、竹内会員（後日承諾）が協力することになった。

#### 議題6. 学会HPについて

国立情報広報委員会HP担当の佐藤博一委員から説明があった。

大学のサーバーに移管するのは不安定であるため、民間のサービスへの移行が提案された。大学生協学会支援センターも検討する。完全にサービス停止まで1年間をかけて移行作業をしたいと報告され、内容については、2月例会で決定する。

#### 議題7. 選挙管理委員会のメンバーの推薦

選挙管理委員会の3名の選挙管理委員が推薦された。

橋本英治（神戸芸術工科大学）、川上比奈子（摂南大学）、大久保恭子（関西外国語大学）最終決定は11月例会。

#### 議題8. 名簿の改訂について

選挙と名簿は分けて考えることとなった。2年以上会費を滞納している人は名簿に反映しない。

次回の役員会で3年、4年会費を滞納している人を確認する。

3月末で入退会を確定。

来年度夏の発行を目標とすることで承認された。

4月の年会費請求の際に再度情報を確認してさらに専門分野の確認をして発行する。

#### 議題9. 入会希望者の承認

承認された。なお、年会費については年度末毎で納入をお願いするという事になった。

#### 議題10. その他 特になし

#### [報告事項]

報告1. 各種委員会報告

編集委員会：56号に昨年度の大会報告が掲載されることが報告された。

来期の表紙について。編集委員会では決定できなかったもので、役員会の議題として次回取りあげる事となった。

学会賞委員会：意匠学会作品賞選考報告がなされた。作品賞に該当する作品は該当なしとの報告があった。

広報委員会：広報委員会から会報について報告があった。

その他：第52回大会の会計報告がなされ、承認された。

#### 会報担当連絡先

〒610-1197

京都市立芸術大学美術学部第3研究室群

伊東徹夫 宛

TEL 075-334-2255 FAX 075-334-2255